

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和2年12月8日(月)
午前10時55分から午前11時44分まで
- 3 場所 第2、第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 関戸郁文 (副委員長) 谷平敬子
(委員) 片岡健一郎、水野忠三、宮川隆、堀 巖、榊谷規子
- 5 欠席委員 なし
- 6 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項
(2) その他

関戸委員長：投票率向上のための施策を求める請願について、当局より岩倉市の選挙における啓発実績の説明をよろしく。

行政課長：資料に沿って説明。また、今回の市長選では保育園・幼稚園の園児に啓発用ぬり絵の配布を計画している。保護者への呼びかけに繋がる。成人のつどいの際に配布する啓発物品にパンフレット等を入れたい。明るい選挙のポスター作品を募集したところ、小中学生から88作品の応募があり、1月13日から17日、告示日まで市役所2階の市民ギャラリーで展示する。よりタイムリーにお知らせしていきたい。

堀委員：明るい選挙のポスターや市のFacebook等の記事をリンクさせていただきたい。例えばポスターを展示するだけでなく、写真を撮ってFacebookに掲載する等を検討してほしい。

行政課長：募集時にそこまで了解を取っていないので、作品の掲載は今回は困難であるが、作品展を開催していることは積極的に周知したい。

宮川委員：成人式の時にハガキやチラシを考えているとのことだが、成人年齢が18歳になったので、そのタイミングでも何らかのアプローチをお願いしたい。

片岡委員：青年会議所会員企業にポスター掲示を依頼とのことだが、15事業所とはどういった数字か。

行政課長：15というのは前回の参議院選挙の際に配ることができた枚数で、過去の実績である。

片岡委員：現役の会員を通じて100人近くいるOBにも依頼してみてもどうか。検討してほしい。

水野委員：ポスター掲示を依頼して、拒否されることはあるのか。また、他にも喫茶店や飲食店等に依頼する予定はあるか。

行政課長：商業施設へのポスター掲示は有料ですと言われることもある。粘り強

くお願いしていきたい。ポスターの枚数にも限りがあるので、いい場所があればやっていきたい。

宮川委員：ポスターで岩倉駅の地下道には貼ると思うが、石仏駅や大山寺駅にも依頼をしていただければ協力してくれると思う。

堀委員：青年会議所に限らず、商工会を通じて幅広く事業所にお願ひできないのか。

行政課長：若い層を対象にという意図で青年会議所にお願ひした。ポスターの枚数に制限があるので、商工会にもできる範囲でお願ひしていきたい。

堀委員：ふれあいタクシーには（掲示を）お願ひできないのか。

行政課長：デマンドタクシーの際は市内での運行だったため、車内に掲示できたが、ふれあいタクシーとなると市外の方が乗ることもあるので難しいのではないのか。

梶谷委員：ポスターは何枚か。有料のところは貼らないのか。

行政課長：ポスターの枚数は200枚だったと思う。有料と言われたところは粘り強くお話ししている

堀委員：市独自の動画作成はどうか。

行政課長：今回は検討していない。有効な方法だと思うので今後は検討していきたい。

関戸委員長：投資に対する効果を考え、どこかを削って、どこかを増やす。例えば高額であろうセсна機での啓発を辞めて他に回すなど、総予算の中で検討していただければいいと思う。

(1) 令和2年度政策提言について

関戸委員長：意見があれば。

宮川委員：記憶が定かでないが、提言③の、駐車場の利用料金は市内在住者無料、それ以外の者は有料というのは現実的に難しいのではないのか。実現のためにはスタンドを設置するか、何か閉鎖スペースを作らないと管理できないが、用水路の上なので構造物を設置できないということも明らかになった。また登録カードの発行等、今の段階でそこまで飛躍できるのか疑問を覚えた。

水野委員：現状では難しいように思う。将来的な課題として、検討されたいのかと思う。

宮川委員：委員会としてここまで書いてしまうと、圧迫感があるので、水野委員が言われるように将来的な課題ということであれば、1文入れたら。

堀委員：登録制の話は出たが、有料、無料という議論はしたか。

片岡委員：確かにあまり議論になっていない。税金を投入している市民のための駐輪場という観点から、差をつけるというのは検討課題だとは思う。例えば公共施設は市内在住か市外在住かで利用料金が変わるので。

堀委員：自転車等駐車場は公共の施設だと定義したうえで、施設として整備する前提で、将来的に有料、無料の考えになるという流れを書いた方がいい。

関戸委員長：将来的に、と注釈すればいいか。

水野委員：市内の方と区別する方向性を求めるか。

梶谷委員：石仏駅を考えると、市外の高校生の利用もあるので、そこまで有料にするのか。

堀委員：市の税金で施設整備するので、市外の方の利用料が高くなるというのは片岡議員が言ったとおり。ただ、事業者である名古屋鉄道が付設する駐車場ならば市内も市外も関係がないので、その塩梅だと思う。

宮川委員：都市部では地下に自転車駐車場を整備している自治体もあるので、イメージは浮かぶのだが、まずここで有料、無料という議論よりも、駅周辺の密集の緩和が前提。そのために駐車場整備計画が出たらその時に議論する話だと思う。今はそれ以前の段階。

関戸委員長：公共交通を担う駅に、事業者が設置する有料の自転車駐車場と、市が設置する無料の自転車駐車場があり、さらに無料の自転車駐車場には市内在住者の自転車と、それ以外の人々の自転車があり、そこを差別化しようということ。事業者ではなく、公であるので、事業者の不利益にならないよう有料化、というそういう意味ではないか。

宮川委員：民間が設置した駐輪場に何らかの補助をするのは可能だと思うが、事業者が区別をつけるのは無理がある。

関戸委員長：③は削除すればいいか。

水野委員：③を削除した上で、将来的に自転車等駐車場整備計画の策定を進めていくという趣旨を入れては。

宮川委員：整備計画に言及していいのか。総数は足りていて、駅近くにだけ密集するのが問題であり、今あるものをどう活用するかを執行機関は考えるだろう。位置的に優劣をつけるとか、はみ出して停めているものを素早く処理するとか、そういうことに尽きると思う。

堀委員：自転車等駐車場間における偏りの解消を書けばいい。

関戸委員長：偏りの解消をするためにどうすればいいのか書かなければ。

谷平副委員長：放置自転車の対策キャンペーンのような、周知キャンペーンを年に1、2回やってもいいのでは。

宮川委員：年に何回か重点的に撤去したり実態調査を行ったりしているようだが、それが市民にアピールしているものかというところではないのかと思う。対市民向けアピールを重点的に行うのは必要だと思う。

片岡委員：停める場所がないわけではなくて、駅に近いところだけが混雑している。偏りをどう解消するか考えると、①のサイクルスタンド設置やライン表示

のようなことに尽きるのではないかと思う。自転車駐車場内での放置自転車も毎月何十台もあるわけではなく、そこまでの問題ではない。ちなみに、一宮駅（の市営自転車駐車場）は全部有料であり、シフトチェンジしている自治体が既にあることは知っておくべき。

堀委員：①に偏りを解消するということも含まれると解釈できるので、このままでいいと思う。

梶谷委員：シルバー人材センターは、放置自転車撤去作業だけでなく、整理整頓作業と別々だったと思うが、「等」に両方含むということでもいいか。

関戸委員長：自転車駐車場の整備をしている人、と明確にすべきか。

片岡委員：今の話では整理業務の方が重要なので、「等」に含まれているのだろうが、明記してもいいのかなと思う。放置自転車撤去作業のほうは人手不足という状況ではないと思う。

水野委員：自転車等駐車場内の整理及び放置自転車等の撤去作業に従事する、としてはどうか。

（異議なし）

堀委員：考察の4つ目が、何を言いたいかわからない。

水野委員：自転車が集まってくることによって歩道をふさいだりして、通行の妨げになりかねない、という趣旨かと。

関戸委員長：わかりやすく改める。

堀委員：事務局に字句の整理をしてもらってから提出してほしい。

関戸委員長：18日の議会基本条例推進協議会で示して、議員全員で合意できたら、議長に提出する。

片岡委員：推進協議会で意見が出たら、もう一度協議会を開くのか。

関戸委員長：その予定。全員の合意を得ることが前提。

宮川委員：議長名で、議会として出すのであれば、議会基本条例推進協議会の総意でまとめられるのであれば、改めて本協議会で諮る必要もないと考える。

（発言する者あり）

関戸委員長：推進協議会後にもう一度、本協議会を開催する。

堀委員：最終的には委員会協議会でなく、委員会で決定していただきたい。

関戸委員長：18日までに委員の合意を得て推進協議会に提出する。

9 その他

特になし